



地域における学校の役割 —地域の人と人をつなぐ—

西川小学校が統合する前、町内の各地域に学校がありました。当時、学校は地域コミュニティの中核として、人と人をつなぐ場でもありました。しかし、社会情勢の変化や急激な人口減少などによって学校統合が進み、人とのかわりが以前よりも希薄になりました。また、近年は「地域に開かれた学校」を目指すも、コロナ禍により思い描いた教育活動を展開できない時期がありました。

このような状況を踏まえ、学校では「学校運営協議会」を中心に、地域と協働的に取り組む教育の充実に力を入れています。例えば、図書館の2階に「コミュニティルーム」を設置し、子どもたちと地域の方が交流できる機会をつくったり、清掃ボランティアの方を募って子どもたちと一緒にそうじをしていただいたりする活動を展開しています。学校が地域の拠点となり、人と人をつなぐ役割を果たしていくことで、子どもたちも地域の方々も元気になり、活力ある暮らしにつながっていくと考えています。

コミュニティルームでのかわり

将棋体験

6月12日(金)の中間休み、将棋に関心のある子どもたちが集まり将棋を体験しました。教えてくださったのは佐藤昇一さん(間沢)です。

佐藤さんから昨年度も将棋を教えていただき、今回が2回目の将棋教室です。1回目が大盛況だったため、学校で新たに将棋セットを購入して開催しました。子どもたちは友達と対局を進めたり、佐藤さんから攻め方を教えてもらったりするなど、思い思いに将棋を楽しみました。これを機会に、将棋好きの子どもたちが増えていきそうです。

かぎ編み体験

6月22日(月)の中間休み、かぎ編みに挑戦したい子どもたちがコミュニティルームに集まりました。この日、教えてくださったのは、古澤容子さん(間沢)、古澤悦子さん(沼の平)、早坂芳子さん(綱取)、荒木真知子さん(月岡)の4人です。

子どもたちは編み方を丁寧に教わると、次第にコツをつかんでいきました。なかには、20分間で30cmほどの長さに編み上げた子もいました。かぎ編みでつくった素敵な作品も見せていただき、子どもたちは「今度はこれを作りたい」と笑顔で話していました。



清掃ボランティア

今年度、多くの方々から清掃ボランティアとしてご協力いただいています。網取地区からは、早坂力さん、早坂芳子さん、古澤佐喜子さん、工藤八重子さん、古澤幸恵さんが、食堂のテーブルや床、窓を中心に掃除をしてくださいました。6月16日（火）には、秋場厚子さん（睦合）、古内清行さん（睦合）、奥山育男さん（海味）、古澤美代子さん（網取）が清掃ボランティアとして来てくださり、子どもたちと一緒に掃除をしてくださいました。

また、昨年度に引き続き、今年度も清掃ボランティアとして井上美恵子さん（海味）と柴田薫さん（海味）が定期的にご協力くださっています。「子どもたちの声を聞くと元気をもらえる」といったうれしい声もいただいています。

本校は広々とした校舎である上、年々児童数が減少しているため、掃除が行き届かない面もあります。地域の方々からご協力いただけることで、気持ちよく学校生活を送ることができます。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



草刈りボランティア

6月24日（水）、草刈りボランティアのみなさんが、駐車場周辺ののり面やビオトープの草刈りをしてくださいました。

夏らしい天候になるにつれ、草もだいぶ伸びてきていたため、みなさんのご協力のおかげですっきりとした環境になりました。朝から太陽が照りつける中、ありがとうございました。



学校見学

5月29日（金）、「ドリームクラブ」（代表：奥山妙子さん）のみなさんが学校を訪問し、校内を見学されました。「初めて小学校に入った」「懐かしい写真が飾られている」とうれしそうに話されていました。本校では、地域の方から気軽に校舎を見学していただき、学校や子どもたちのことを少しでも身近に感じてもらえたらと思っています。



おいしいサクランボをいただきました

6月22日（月）、JAさがえ西村山の方より、真っ赤に色づいた紅秀峰をいただきました。早速、この日の給食に提供したところ、子どもたちはうれしそうに頬張っていました。年によって収穫量が変わっても、毎年子どもたちにたくさん提供いただいています。生産者のみなさん、関係者のみなさんに感謝申し上げます。

